

いけるよ！徳島・行動計画

主要事業等評価シート

基本目標5 「みんなが主役・元気とくしま」

「いけるよ！徳島・行動計画」主要事業等評価シート

基本目標5「みんなが主役・元気とくしま」

5-1 安心子育てとくしまづくり

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
23	<p>5 要保護児童対策の推進</p> <p>●要保護児童対策地域協議会を活用し、必要な支援を実施することにより、児童虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、虐待防止に向けた普及啓発を図ります。（再掲）</p>	推進	→	→	→	<p>17市町村</p>	<p><H23取組内容と進捗状況> 未実施市町村に対して早期に実施するよう働きかけを行った。2町において事業開始 <現状での達成見込み>○ <課題> 児童虐待防止のため、市町村要保護児童対策地域協議会と連携し、効果的な運用を行うことが必要</p>	<p>・未実施市町村に対する働きかけ</p>	保健	C	<p>児童虐待は、本来、守り育ててくれるはずの保護者から、児童が虐待を受け、心身両面にわたり深刻な傷を負うものであり、社会全体で早急に解決すべき重要な課題である。徳島県においても児童相談所における児童虐待相談対応件数が、平成22年度で400件を超えると厚生労働省のホームページに掲載されていた。このことから、最も大切な事業であるが、取組内容、課題、今後の取組ともに消極的なように思われ、「C評価」とした。</p>
	<p>○「養育支援訪問事業」実施市町村数 [21]13市町村→[26]全市町村</p>	18 市町村	20 市町村	22 市町村	24 市町村						

5-2 高齢者生き生きとくしまづくり

37	<p>●介護サービス従事者*の研修等を通じ、介護サービスの質の向上を図ります。</p>	推進	→	→	→	<p>3,726人/年</p>	<p><H23取組内容と進捗状況> 介護サービスの質の向上を図るため、様々な研修を実施している。また、保険者である市町村等が行う研修会も増加している。 <現状での達成見込み>○ <課題> 年度により受講者数にばらつきがある。</p>	<p>・必要な研修会の企画・実施に努める。</p>	保健	C	<p>参加者については、平成22年度に比較し増加しているものの、平成19年度から21年度までの実績を下回っている。高齢者に対し、質の高い介護サービスを提供するためにも、必要な研修を受講し、資質の向上を図る必要があることから、「C評価」とした。今後は、研修参加者を増やす工夫が必要である。</p>
	<p>○介護サービス従事者の研修参加者数 [21]4,394人/年→[26]5,100人/年</p>	4,550 人/年	4,700 人/年	4,900 人/年	5,100 人/年						

5-4 ユニバーサルとくしまづくり

57	<p>●「とくしま公共事業ユニバーサルデザイン推進プラン」を改定し、ユニバーサルデザインによるまちづくりを推進します。</p>	改定・推進	→	推進	→	<p>17市町村</p>	<p><H23取組内容と進捗状況> 徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例等に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した公共事業を進めるためのマニュアルづくりの準備を進めた。 <現状での達成見込み>○ <課題> 整備事例の収集</p>	<p>・引き続き、公共建築物等の整備事業者等からの情報提供など、整備事例の収集に努める。</p>	県土	C	<p>「とくしま公共事業ユニバーサルデザイン推進プラン」の改定状況が不明であり、また、「整備事例の収集」が課題となっていることは疑問であることから、「C評価」とした。</p>

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見		
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項	
5-5 共助共生とくしまづくり												
68	<p>3 地域における障害者支援の推進</p> <p>●障害者のコミュニケーション手段等を確保するため、手話・点訳等の専門的知識・技能を有する各種ボランティアの他、地域における生活を支援するためのサポーターを育成するとともに、県民への理解と普及を促進します。</p>	推進	→	→	→		<p><現状での達成見込み>○</p> <p>(県登録手話通訳者)</p> <p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>1 県養成講座実施の周知(県HP1回、県庁だより1回、市町村周知依頼1回)</p> <p>2 県登録試験実施の周知(県HP1回、県庁だより1回)</p> <p><課題></p> <p>期限付き登録者も含まれるため、人数確保の対策が必要(課題把握の方法)</p> <p>登録者名簿で対象者を把握)</p>	<p>・県広報媒体などの手話通訳の普及啓発</p> <p>・期限付き登録者へのスキルアップ講座受講案内</p>	保健	C	<p>手話通訳者だけを増やすのではなく、点訳のボランティアの育成も含め、取組の強化を図る必要があるのではないか。また、オンリーワン徳島行動計画(第二幕)より手話通訳の目標を下げていることもあり、敢えて、平成23年度の取組を低く評価した。</p>	
	○県登録手話通訳者数 [21]53人→[26]60人	54人	56人	58人	60人	61人	<p>(障害者サポーター)</p> <p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>災害時障害者支援研修を3圏域にて実施 研修参加者 128名(うち障害者サポーター新規登録者 8名)</p>					<p>・障害者サポーターを養成する研修を実施する。</p>
	○「障害者サポーター」数(累計) [21] - →[26]180人	90人	120人	150人	180人	69人	<p><課題></p> <p>災害時、障害者を支援するため、サポーターの養成は重要であり、その裾野を広げていくことが必要である。</p> <p>(課題把握の方法)</p> <p>研修時にアンケートを実施。</p>					

「いけるよ！徳島・行動計画」主要事業等評価シート

基本目標5「みんなが主役・元気とくしま」

5-1 安心子育てとくしまづくり

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
1	<p>1 地域の子育て力の充実</p> <p>●「徳島はぐくみプラン」の県民への浸透を図り、子育て支援へ参画を促進する普及啓発活動を実施します。</p>	実施	→	→	→	<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成支援行動計画「徳島はぐくみプラン」（後期計画）に基づき、プランに関連する事業をはじめ、少子化対策を推進した。 ・「徳島県少子化対策県民会議」を開催し、後期プランに掲げた施策の進捗状況に係る協議や検討を行った。 <p><現状での達成見込み>○</p> <p><課題></p> <p>後期計画の着実な推進 (課題把握の方法)</p> <p>少子化対応県民会議において意見収集</p>	<p>「徳島県少子化対応県民会議」において、広く有識者に意見を求めるとともに、県の実施する少子化対策事業についての検討等を行い諸施策の効果的な推進を図る。</p>	保健	B	<p>「徳島はぐくみプラン」を策定した背景や社会全体で子育てを進めるための取組、子育てをする上での相談窓口などを県民に広く周知し理解を得る根本の事業であると思う。しかし、平成23年度及び今後の取組において、このプランを周知する取組が認められない。一般的な周知は行っていると思うが、積極的にこのプランを県民に周知し、社会全体で子どもを見守り、育てる機運を高めることが大切であると考え、B評価とした。</p>	
2	<p>●「徳島県少子化対応県民会議」において、少子化社会対策の推進に関する協議・検討等を行います。</p>	推進	→	→	→	<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者等で構成する「徳島県少子化対応県民会議」を運営し、少子化問題に関して協議・検討を行った。 ・全庁的に取り組むことで、より効果的に少子化対策を進めるため、部局横断的な組織である「少子化対策企画員室」において、各部局で連携して取り組むべき少子化対策について検討した。 <p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題></p> <p>県民会議でいただいた意見の事業化 (課題把握の方法)</p> <p>少子化対応県民会議における意見</p>	<p>・客観的なデータについて分析し、十分な議論に努め、効果的な事業を展開する。</p>	保健	B		
3	<p>●「徳島はぐくみ子育て憲章」の普及啓発に努めるとともに、仕事と子育てが両立し、ゆとりを持って子育てができる社会づくりを進めます。</p>	推進	→	→	→	<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての県民がそれぞれの立場で少子化の問題に取り組み、社会全体で子育てを支えるための行動指針となる「徳島はぐくみ子育て憲章」について、各種広報等の機会を活用して積極的な普及啓発に努めた。 <p><現状での達成見込み>○</p> <p><課題></p> <p>県民への周知 (課題把握の方法)</p> <p>少子化対応県民会議における意見</p>	<p>・啓発についての工夫をこらしていく。</p> <p>・ワークライフバランスを促進できる制度の検討</p>	保健	B		

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
4	●「子育て総合支援センターみらい」が地域の団体と連携し、高齢者や若者等が子育て支援に参加する「地域子育て応援団」の結成等、地域における住民主体の子育て支援ネットワーク構築を支援します。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> ・子育て支援活動者を中心とした活動や企業、団体等による子育て支援活動の企画を募集し、企画実施について補助金を交付した。(H23 8団体) ・地域子育て応援団は、新たに2団体結成され、9団体となった。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 小規模な団体は応援団の結成が困難 (課題把握の方法) ネットワーク会議での意見	・県内全域での「子育て応援団」の育成	保健	B	
	○地域子育て応援団結成団体数 [21]3団体→[26]15団体	9団体	11団体	13団体	15団体	9団体					
5	2 男女の出逢いの場づくり ●「出逢いきらめきセンター」を中心として、官民協働による男女の出逢いの場づくりを支援します。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> ・地域で結婚支援に取り組む団体等に対する支援を強化し、「きらめき縁結び応援団」の育成を図った。 ・応援団主催による出逢い・交流の場が年間117件開催され、5,378名の参加があった。 <現状での達成見込み>○ <課題> ・成果(婚姻数)の把握が困難	・ホームページやメールマガジンにより、情報を広く配信。	保健	B	平成23年度は、出逢い交流の場が117件開催され、5,378人の参加があるなど評価はできるが、成果(結婚数)の把握が必要でないか。また、いつまで県が行うのか、将来のあり方について検討が必要である。
	○男女の出逢いの場等への参加者数(累計) [21] - →[26]15,000人	6,000人	9,000人	12,000人	15,000人	5,378人					
6	3 子育て機能の向上 ●徳島の未来を担う若者が、徳島県の現状や人口減少社会の到来など新たな時代潮流について学習したり、結婚や子育てを含む自らの将来について語り合う機会を通じて、徳島の未来に積極的に関わってほしい「若者未来創造塾」を開講します。	開講・推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 35名の塾生に対して、以下のとおり講義、体験学習を実施した。 ・第1回 大高 翔「言葉の力-恋俳句レッスン-」 ・第2回 体験学習「幸福な家庭を徹底研究」(あすたむらんどで取材) ・第3回 徳島大学院准教授 石田 和之「20代からの経済学」 FM徳島パーソナリティ 蔭山 洋子「パーソナリティと子育て」 ・第4回 アニメプロデューサー 近藤 光「若者がとどまりたい街づくり」 ・第5回 まとめ(未来創造メッセージ作成)、塾長(知事)との意見交換 <現状での達成見込み>◎ <課題> ・塾生の募集に工夫が必要。 ・講義の内容は塾生の意識等を考慮し、ブラッシュアップや新規展開を検討していく。	・塾生の意見を反映した事業展開	保健	B	「若者未来創造塾」について、子育て機能の向上を大きな目標にしているが、平成23年度の実績をみると「恋俳句レッスン」であったり、「20代からの経済学」、「若者がとどまりたい街づくり」などの講座も認められ、「子育て」に対する事業内容かどうか疑問であるため、B評価とした。ただ、青年が夢を語ったり、徳島の未来に積極的に関わっていく、「若者未来創造塾」の目的は大いに評価できるため、行動計画の中に、新たに重点戦略を設定すればいいのではないか。
	○「若者未来創造塾」の開講 [23]開講	開講	→	→	→	開講					
	○「若者未来創造塾」の参加者数(累計) [21] - →[23]100人	30人	60人	90人	120人	35人					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
7	●「子育て総合支援センターみらい」において、子育て関連組織等の取組を総合的にコーディネートし、子育て環境の向上を図ります。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て総合支援センターにおいて、子育て支援者向け専門研修を実施するとともに、関係機関の連携を促進するため、県内5地域での子育て支援ネットワーク研修会を開催した。 ○支援対象団体数〈H23末：422団体〉 <p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援団体からの情報の把握が困難（課題把握の方法） ネットワーク会議での意見 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て環境の向上について意見交換を行い子育て支援団体の活発化を図る。 	保健	A	
	○支援対象団体数 [21]390団体→[26]440団体	415 団体	420 団体	430 団体	440 団体	422団体					
8	●大型の保育用遊具等を子育て支援団体等に貸し出すことにより、地域における子育て支援活動を応援します。	実施	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援団体に対して大型保育用遊具の貸し出しを行った。 <p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の周知（課題把握の方法） ネットワーク会議での意見 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具の貸し出しによる支援団体の活動の活発化を推進 	保健	B	そもそも、「大型の保育用遊具等」を子育て支援団体に貸し出すことが、どの程度、地域の子育て支援につながっているのか疑問なため、B評価とした。
9	●次代の親となる世代に子育てに関する知識について、大学との連携を図り、学習やふれあい体験の機会等を提供し、次代を担う親づくりを推進します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の学生に対して、赤ちゃん人形を使った母子体験、妊婦シミュレータを利用した妊婦体験、乳幼児教育等を以下のとおり実施した。 1 小中学校、高等学校で授業として実施（計11回） 2 高校・大学の学校祭でブースを設けて実施（14高校、3大学） <p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの学校で実施できるようにする。（課題把握の方法） 保健所からの実績報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 今までに実施していない学校に対して働きかけを行う。 	保健	A	
10	●ひとり親家庭等が自立し、安心していきいきと子育てができる環境づくりを目指した「徳島県ひとり親家庭等自立促進計画」の着実な推進を図ります。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 計画に掲げられた5つの基本目標を達成するための具体的施策を実施し、ひとり親家庭の自立促進を図った。特に平成23年度においてはICTを活用した在宅就業支援事業を実施し、ひとり親家庭の就業支援を推進した。 <p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 多岐にわたる具体的施策を総合的に実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本目標を達成するための具体的施策を引き続き推進していく。 平成24年度では教育相談、ホームフレンド派遣等の新規事業を実施し、子育て支援策を推進していく。 	保健	B	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
11	●児童福祉業務に携わる人材の育成を総合的に図ります。	推進	→	→	→	/	<p><H23取組内容と進捗状況> 保育士、放課後児童クラブ職員等を対象とした各分野の専門的研修会の実施 (計13種類実施 受講者2,990人)</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 必要なテーマの設定 (課題把握の方法) 研修会実施後のテーマや苦情相談事項の分析等</p>	・児童福祉施設等におけるリーダー的職員及び専門的職員に対する必要な課題解決に必要なテーマによる研修会の実施	保健	A	
	○研修会受講者数 [23]~[26]毎年2,000人	毎年 2,000 人	毎年 2,000 人	毎年 2,000 人	毎年 2,000 人	2,990人					
12	●すべての子どもに適切な保育を保障し、質の高い幼児教育を提供できる環境を整えます。	推進	→	→	→	/	<p><H23取組内容と進捗状況> 保護者の就労等により昼間、保育が必要な児童が保育所を利用できない保育所入所待機児童の解消に向けた保育所受入枠の拡大(入所児童数対前年度140人増)</p> <p><現状での達成見込み>○ <課題> 保育所利用希望者の急増 (課題把握の方法) 市町村における入所希望調査</p>	・保育所入所受入枠拡大を図るための保育所の新設・増改築	保健	B	
	○待機児童の解消 [21]30人→[26]0人	0人	0人	0人	0人	29人					
13	●屋間に保護者が家庭にいない児童に適切な遊びと生活の場を確保する放課後児童クラブ*の拡充を図ります。	順次拡大	→	→	→	/	<p><H23取組内容と進捗状況> 放課後児童クラブの未設置小学校区又は利用希望の増加に伴い開設を新たに希望する小学校区において、保護者等を中心に運営委員会が組織化され、健全育成上効果的な一定数(10人以上)の児童の集団を形成することが可能な場合において開設を支援</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 保護者等による運営委員会の組織化 (課題把握の方法) 市町村における開設希望調査</p>	・市町村と連携を図り開設準備が進む放課後児童クラブへの新規開設支援	保健	A	
	○放課後児童クラブの設置数(累計) [21]132クラブ→[26]146クラブ	※145 クラブ	※145 クラブ	※146 クラブ	※146 クラブ	146 クラブ					
14	●地域にある保育所等を利用して、育児相談に応じたり、子育て情報の提供、子育てサークル・ボランティアの育成、支援等を進めます。	順次拡大	→	→	→	/	<p><H23取組内容と進捗状況> 人的資源の集約化など実施施設の機能強化を図り、育児不安解消に向けた身近な相談先として、平日の昼間、常時(週3日以上)、子育て支援活動ができる子育て支援センターの開設推進</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 実施にあたっての人員・施設の確保 (課題把握の方法) 市町村の現状報告</p>	・未実施市町村における子育て支援センター開設に向けた人員・施設・補助制度等の活用方法を含めた技術的支援	保健	A	
	○地域子育て支援センターの設置市町村数 [21]22市町村→[26]全市町村	22 市町村	22 市町村	24 市町村	24 市町村	22市町村					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
15	<p>●子育てをしている家庭にとってニーズの高い一時預かり・特定保育などの保育サービスの拡充を図ります。</p> <p>○「一時・特定保育*」実施市町村数 [21]16市町村→[26]全市町村</p>	順次拡大	→	→	→	21市町村	<p><H23取組内容と進捗状況> 人的資源や実施施設の集約化など保育環境を整備し、一時的に保育が必要な子どもを保育する施設の開設推進 <現状での達成見込み>◎ <課題> 実施にあたっての人員・施設の確保 (課題把握の方法) 市町村の現状報告</p>	<p>・未実施市町村における一時的な保育の実施施設開設に向けた人員・施設・補助制度等の活用方法を含めた技術的支援</p>	保健	A	
16	<p>●地域の企業や事業所の応援による子育て支援運動を推進するとともに、関西等で実施されている同種事業との相互利用ができるよう広域的な取組を進めます。</p> <p>○「Go!Go!くつき隊応援し隊*」協賛店舗等数 [21]6,592事業所→[26]28,000事業所</p>	推進	→	→	→	28,720事業所	<p><H23取組内容と進捗状況> 四国及び関西との広域連携を推進し、H23の目標値を達成することができた。 また、ホームページをリニューアルし利用者の利便性も向上した。県内の協賛店舗に対しアンケート調査を実施した。 <現状での達成見込み>○ <課題> 同種の優待サービスが他にもあるため、認知度が低く、協賛店舗側はメリットが少ないと考えている。 (課題把握の方法) アンケート調査</p>	<p>・チラシの配布等広報の強化</p>	保健	A	
17	<p>●男性の育児参加を促進することこそ、早急に取り組むべき効果的な少子化対策であるとの認識のもと、日常的に育児を楽しんでいる男性を、本県ならではの趣向を凝らした「とくしまイクメン大賞」として表彰することにより、男性が積極的に育児に関わることのできる社会環境を醸成します。</p> <p>○「とくしまイクメン大賞」の創設 [23]創設</p>	創設・推進	→	→	→	創設	<p><H23取組内容と進捗状況> ・とくしまのイクメン大賞の募集を行った。 「とくしまイクメン大賞部門」「イクメンサポート大賞部門」については、応募作品の中から選定委員により大賞を選定。 「イクメン川柳部門」については、応募作品の中から選定委員により優秀賞5作品を選定。翌年度、行われるおぎゃっと21のステージイベントで「とくしまイクメン大賞」、「イクメンサポート大賞」の表彰式を行い、川柳については、来場者による一般投票により優秀賞の中から大賞を決定。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 男性が育児に参加しやすい環境づくり</p>	<p>・とくしまのイクメン大賞の募集を定着させ県の取組を広報を通じて広める。</p>	保健	A	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
18	●仕事と子育ての両立を支援するため、「ファミリー・サポート・センター」の設置を促進するとともに、設置が困難な市町に対する本県独自の工夫を盛り込み、「ファミリー・サポート・サービス」を全県に整備します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>1 病児・病後児預かり等の研修会の開催 2 補助金を活用したファミリー・サポート・センター広域設置支援（1市4町） 3 案内チラシの作成 4 未設置の自治体への要請活動</p> <p>上記の取組等により、平成24年4月から、三好市、東みよし町が共同で「みよしファミリー・サポート・センター」を設置した。</p> <p><現状での達成見込み>○ <課題> 未設置の自治体に対する更なる働きかけが必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 緊急雇用創出事業を活用した支援を行う。 地域の子育て支援のネットワーク化を図る。 (財)勤労者福祉ネットワークを活用した補助事業（合同研修、交流イベント等）を実施する。 	商工	B	
	○「ファミリー・サポート体制」整備市町村数 [21]13市町村→[26]全市町村	18 市町村	20 市町村	22 市町村	24 市町村	18 市町村					
19	●病児・病後児保育事業の推進とあわせ、看護協会及びファミリー・サポート体制等との連携による、病児病後児サポート事業の実施により全県的な病児病後児の受入環境を整備します。	整備	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>市町村及び医療機関等と連携を図り、医療機関等に付設した専用室において病児病後児を保育する施設型の病児病後児保育事業の実施支援</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 実施にあたっての人員・施設の確保（課題把握の方法） 市町村の現状報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関等に付設した施設型の病児病後児保育の推進 1施設を複数の市町村が利用できる広域利用の推進 一定の研修を受講した看護師を保育が必要な病児病後児の自宅等を訪問する病児病後児サポート事業の実施 	保健	B	
	○病児病後児保育実施市町村数 [21]9市町村→[26]全市町村	13 市町村	16 市町村	20 市町村	24 市町村	11市町村					
20	4 次世代育成支援のための経済的負担の軽減 ●不妊治療の経済的負担の軽減のために不妊治療費について助成します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>助成事業については、各保健所において取り組み、制度利用者の利便性の向上に努めた。 制度についてのチラシの作成、県ホームページへの掲載等、周知広報に努めた。</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 精神的、肉体的、経済的にも負担の大きい不妊治療を受ける方たちを支援するため、相談支援体制の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国の実施要綱に基づき事業を実施する。 制度について更に周知広報に努める。 昨年度に引き続き、各保健所において不妊相談を受け付けるとともに、徳島大学病院に「不妊専門相談センター」の運営を委託する。 	保健	A	チラシの作成や県ホームページへの掲載など周知に努めるとともに、助成件数も年度の数値目標を上回っており、さらに、徳島大学に「不妊専門相談センター」を設置するなどの対策を講じていることから、「A評価」とした。
	○不妊治療費助成件数（累計） [21]1,517件→[26]3,500件	2,300 件	2,700 件	3,100 件	3,500 件	2,493件					
21	●子育て家庭の経済的負担を軽減するために、全国トップクラスとなる乳幼児等の医療費助成を実施します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>対象年齢を小学3年生修了までとして実施した。</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> コンビニ受診につながらないよう、適切な受診について啓発する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の更なる拡大。（10月1日より、小学校修了まで拡大予定） 適切な受診について啓発を行う。 	保健	A	
	○全国トップクラスとなる乳幼児等医療費助成制度の対象 [21]小学校3年生修了まで→[26]全国トップクラスの堅持				全国 トップ クラスの 堅持	小学3年 生修了 まで全 国第6 位					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
22	●勤労者向け協調融資制度において、子育てを行う勤労者の教育資金等の低利融資を行うことにより、経済的負担の軽減を図ります。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>1「勤労者ライフサイクル資金」の貸付 2「勤労者住宅建設資金」の貸付 3「阿波っすくすくはぐくみ資金」の貸付 4「経済変動対策緊急生活資金」の貸付 上記の貸付事業により、勤労者の経済的負担が軽減された。</p> <p><現状での達成見込み>○ <課題> 貸付金利用者の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・案内チラシを広域に配布による制度の周知徹底。 ・利用率の高い「阿波っすくすくはぐくみ資金」の協調倍率の引き上げ。 	商工	B	
24	●様々な事情により家庭で育てられない子どもに対して、児童福祉施設や里親制度を活用し、より家庭的な環境での養育を図ります。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>里親制度の普及啓発（講演会の開催）、里親研修の実施、里親委託等推進委員会の設置、里親家庭への訪問支援、里親による相互交流などを行い、里親委託の推進と里親家庭の支援を総合的に行った。</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 里親制度の普及啓発により里親の希望者を広く求めることが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・里親制度の周知 ・里親研修の実施 ・里親への相談・助言 ・里親家庭の訪問・相互交流 	保健	B	
	○里親等委託率 [21]8.9%→[26]11.0%	10.2%	10.4%	10.7%	11.0%	10.5%					
25	6 「ワーク・ライフ・バランス」の展開 ●県内企業等への戸別訪問やセミナーなどを実施し、中小企業等における「一般事業主行動計画」の策定や「ポジティブ・アクション」の積極的な取組を促進することにより、仕事と子育て等が両立するための環境整備を進めます。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>1「ワーク・ライフ・バランス推進フォーラム」を実施 2「仕事いきいきセミナー」を実施 3「仕事と子育ての両立支援に関する事例集」を作成 4「ポジティブ・アクション」の取組促進及び「一般事業主行動計画策定」の策定促進のための企業訪問を実施（委託事業） 上記の取組により、届出事業所数が順調に増加した。</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 従業員100人以下の中小企業に対する働きかけの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場づくりに関するパンフレットの作成。 ・企業への戸別訪問の継続実施。 	商工	B	
	○一般事業主行動計画策定・届出事業所数（累計） (100人以下の事業所) [21]149事業所→[26]250事業所	220事業所	230事業所	240事業所	250事業所	243事業所					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
26	●企業等に対しセミナーやアドバイザー派遣などを行い、事業所内保育施設の設置をはじめ、仕事と子育て等が両立できる環境整備の取組を支援するとともに、両立支援に積極的な企業等を認証することにより、企業等における次世代育成の取組を促進します。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 1 「両立支援力アップ推進アドバイザー」を派遣 2 「事業所内保育施設設置推進アドバイザー」を派遣 3 「両立支援力アップ推進セミナー」を開催 4 「はぐくみ支援企業パネル展」を開催 上記の取組により、認証事業所数は増加したが、目標には達成しなかった。 <現状での達成見込み>○ <課題> 改正育児・介護休業法への対応	・「はぐくみ企業」パネル展の継続実施 ・企業への戸別訪問の継続	商工	B	
	○「はぐくみ支援企業」認証事業所数（累計） [21]84事業所→[26]200事業所	125 事業所	150 事業所	175 事業所	200 事業所	118 事業所					

5-2 高齢者生き生きとくしまづくり

27	1 高齢者対策の推進 ●高齢者が「生涯現役」として、生きがいを持って生活できるよう「生きがいづくり」や「社会参加」を支援するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり等を進めていくため、「第5期徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画（とくしま長寿プラン）」を策定し、高齢者対策を推進します。	策定	推進	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 有識者等で構成する県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画策定委員会を4回開催し、平成23年度末に「徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」を策定した。 また、計画は中長期を展望したもので、計画名を「とくしま高齢者いきいきプラン(2012~2014)」と一新した。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 重点課題（4項目）の解決に向け、取り組みを具体化する必要がある。 (課題把握の方法) 関係団体との意見交換により把握した。	・新たな計画の適切な進行管理	保健	A	
	○計画の策定 [23]策定	策定				策定					
28	2 地域福祉のリーダーの養成 ●高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう生きがいづくりを支援するとともに、地域福祉を推進するリーダーを養成します。	順次拡大	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 1 シルバー大学校やシルバー大学校大学院での講師や県内小学校でのホームページ更新支援を行っている。 2 シルバー大学校大学院では、健康・スポーツ講座においてはレクリエーションインストラクターの資格取得を、ICT講座においてはシニアITアドバイザー3級の資格取得が卒業要件となっており、25人がレクリエーション・インストラクターの資格を、78人がシニアITアドバイザー3級の資格を取得している。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 生きがいづくり推進員の多様な活躍の場の創設	・「シニア応援サイト」を活用した活躍の場の創設 ・シルバー大学校大学院において、高齢者のニーズに合うように講座を充実	保健	A	数値目標を達成するとともに、学習意欲向上のため資格取得の推進に取り組んでいる。シルバー大学校大学院を卒業し、社会貢献活動を行う意欲のある方を「生きがいづくり推進員」として登録し、シルバー大学校などでの講師や県内小学校でのホームページ更新など活躍の場づくりに取り組んでいることから、「A評価」とした。
	○生きがいづくり推進員の活動延べ日数 [21]200日→[26]700日	400日	500日	600日	700日	444日					
	○シルバー大学院における資格取得者数（累計） [21]465人→[26]900人	600人	700人	800人	900人	669人					
29	●県立総合大学校（シルバー大学校）の特別講座に「健康づくりサポーター」の「上級者」を育成する「指導者認定講座」を新設します。		新設・推進	→	→		<H23取組内容と進捗状況> とくしま“あい”ランド推進協議会において、シルバー大学校大学院卒業生等を対象とした「健康づくりシニアサポーター養成講座」の開催準備を行った。また、「健康づくりシニアサポーター」が活動の場を創出するための「サポーター紹介サイト(とくしま“あい”ランド推進協議会HP上)」の開設準備を行った。 <現状での達成見込み>○ <課題> 地域のニーズを踏まえた多様な活躍の場の創設	・平成24年度、新たに健康づくりシニアサポーター養成講座を開講予定	保健	B	
	○「健康寿命！長寿県とくしま」指導者認定講座の新設 [24]新設		新設			準備					
	○「健康寿命！長寿県とくしま」指導者認定講座の受講者数（累計） [21] - →[26]50人		15人	30人	50人	-					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年 度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
30	●高齢者の生きがいを推進するとともに、本県の様々な魅力等を発信できる人材を養成します。	開設	推進	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> とくしま“あい”ランド推進協議会において、シルバー大学校大学院卒業生等を対象とした「観光ボランティア養成講座」を開催し、観光ボランティアガイドとして活動するためのノウハウ等を学習した。</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 観光ボランティアガイドを含めた多様な活躍の場の創設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化講座の中で必要な講義を実施 ・「シニア応援サイト」を活用した活躍の場の創設 	保健	B	
	○高齢者における観光ボランティアガイドの養成者数（累計） [21] → [26]120人	30人	60人	90人	120人	30人					
31	3「生涯現役」の「元気高齢者づくり」の推進 ●高齢者に生涯学習の機会をさらに多く提供するため、全県CATV網を活用し、「自宅に居ながら講座が受講」できる高齢者向けの講座を開設します。	開設	推進	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 身体状況等、シルバー大学校に通学が困難な高齢者のために、ケーブルテレビを活用した「生き生きシニア放送講座」を開設し、高齢者に生涯学習の機会を提供できる環境づくりを整備した。</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 講座内容の充実（課題把握の方法） アンケート調査の結果に基づき把握した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の結果に基づき、講座内容を充実し、継続 	保健	B	全県CATV網を活用した、高齢者向けの講座を開設したとあるが、どのような内容なのか不明なため、「B評価」とした。
	○「生き生きシニア（仮称）放送講座」の開設 [23]開設	開設				開設					
32	●県健康福祉祭等の充実により、高齢者のスポーツ及び文化活動の推進を図ります。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 徳島県健康福祉祭を開催し、スポーツ交流大会として卓球、テニスなど14種目、文化交流大会として囲碁、将棋、かるたの3種目を実施した。</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 参加者の増加に繋がるような新たな取り組みが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、徳島県健康福祉祭を開催 ・人気のある種目を追加する等の工夫 	保健	B	
	○県健康福祉祭等のスポーツ及び文化交流大会の参加者数 [21]2,464人→[26]4,000人	2,900人	3,400人	3,700人	4,000人	2,900人					
33	●県健康福祉祭に地域における高齢者が参加しやすい環境を整備するとともに、高齢者の生きがいと健康づくりをさらに推進し、より多くの「元気高齢者づくり」を目指すため、新たに「県南部、県西部サテライト大会」を開催します。		開催・推進	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 「県南部、県西部サテライト大会」開催に向けて、各競技団体に参加依頼及び開催方法等の運営について協議を行った。</p> <p><現状での達成見込み>○ <課題> 地域での代表的な行事として定着させるとともに、参加者確保を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に開催予定 	保健	B	
	○県健康福祉祭の県南部、県西部サテライト大会の開催 [24]開催		開催			協議					
34	●高齢者の生きがいや健康づくりを促進するため、地域で活躍している高齢者等を登録し、顕彰する制度を新たに創設します。	導入・推進	推進	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 地域で活躍されている高齢者を「がんばる高齢者」として25名、心身共に元気な高齢者を「元気高齢者」として50名を登録するとともに、登録者の中から、「がんばる高齢者」25名、「元気な高齢者」11名を顕彰し、高齢者の生きがいづくりや健康づくりを促進した。</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 「元気高齢者」の募集等、更にPRが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「生き生きシニア登録制度」を継続 	保健	B	
	○「生き生きシニア登録制度」登録者数（累計） [21] → [26]300人	75名	150名	225名	300名	75名					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年 度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
35	●働く意欲を持つ高齢者にその経験と能力を活かした就業の機会の確保・提供を行い、高齢者の生きがいを高めるとともに、地域社会の活性化を図ります。	順次拡大	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> シルバー人材センターへの運営補助により、働く意欲を持つ高齢者にその経験と能力を活かした就業の機会確保・提供を行い、高齢者の生きがいがづくりと地域社会の活性化を推進した。 進捗状況については、目標数値には届いていないが、全市町村へのシルバー設置への目処が立ち、今後、就労延人数の増加が見込まれる。 <現状での達成見込み>○ <課題> 高齢者の就業機会確保及び社会活動参加などの生きがいがづくりは今後ますますの需要の高まりが予想されるため、より一層の取組が必要である。</p>	・新規設置のセンターを含め、引き続き運営補助等を実施	商工	B	
	○「シルバー人材センター」の就労延人日数 [21]50万人日→[26]57万人日	51 万人日	53 万人日	55 万人日	57 万人日	50.6 万人日					
36	4 介護基盤の整備 ●介護サービスの公平で円滑な提供を図るため、介護支援専門員等の人材養成に取り組めます。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 介護支援専門員実務研修等の実施により、養成者数は順調に増加している。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 受講者は就労をしながら研修を受けるため、業務との調整に苦慮しているようである。</p>	・対象者が受講しやすい実務研修の開催に努める。	保健	A	「介護保険制度」の要とも言われる「介護支援専門員」の養成について、順調に伸びており、年度の数値目標を上回っていることから、「A評価」とした。
	○介護支援専門員の養成者数（累計） [21]4,972人→[26]5,900人	5,300 人	5,500 人	5,700 人	5,900 人	5,428 人					
38	●「徳島県介護実習・普及センター」等において、中高生が介護の知識を学び、「介護体験」ができる講座を実施します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 車いす体験など、介護の知識を学ぶことにより、心豊かな青少年づくりを目指し、中学生、高校生向けの講座を開設した。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 講座内容の更なる充実</p>	・引き続き、中学生、高校生向けの講座を実施する。	保健	B	
	○中高生のための「介護講座」参加者数（累計） [21] - →[26]240人	60人	120人	180人	240人	66人					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
39	5 高齢者の身体機能に応じた住宅改修等の推進 ●要介護高齢者等が住み慣れた自宅で安心して生活が継続できるよう、高齢者等の身体機能に応じた住宅改修等の推進を図ります。	推進	→	→	→	3,458 件/年	<H23取組内容と進捗状況> 高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活が継続できるよう、身体機能に応じた住宅改修等の推進を図った。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 制度の適正な運用に努める。	・引き続き、制度の適正な運用に努める。	保健	B	
	○高齢者等住宅改修等給付（助成）件数 [23]～[26]2,800件/年	2,800 件/年	2,800 件/年	2,800 件/年	2,800 件/年						
40	6 高齢者虐待防止の推進 ●高齢者に対する虐待を防止し、高齢者の尊厳の保持を図るため、虐待防止に向けた普及啓発を図ります。	推進	→	→	→	3,458 件/年	<H23取組内容と進捗状況> ・相談員が全市町村に設置されている。 ・市町村職員や市町村の地域包括支援センターの職員等を対象として、「高齢者虐待防止研修会」を開催し、普及啓発に努めた。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 市町村職員や市町村の地域包括支援センターの職員の更なるスキルアップ	・高齢者虐待防止に向けた普及啓発の実施	保健	B	

5-3 障害者生き生きとくしまづくり

41	1 障害者の自立支援の推進 ●「徳島県障害福祉計画」に基づき、障害者施策の総合的かつ計画的な推進を図り、障害者の地域での自立を支援します。	策定・推進	推進	→	策定・推進	策定	<H23取組内容と進捗状況> ・徳島県障害者施策基本計画、徳島県障害福祉計画（第3期）を策定 上記取組により、障害者施策を総合的かつ計画的に推進するための計画及び福祉サービス等を確保・整備するため必要な量の見込み及びその方策等を定めた計画を策定した。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 障害者施策の動向及び所要予算の確保 （課題把握の方法） 施策の動向把握、事業者・当事者団体から意見把握	・施策の動向を注視しつつ、所要の施策及び財源が確保されるように国へ政策提言等を行う。	保健	A
	○障害福祉計画の策定・推進 [23]・[26]「徳島県障害福祉計画」の策定・推進	策定・推進			策定・推進					
42	●障害者に対し総合的な支援を行うための相談支援体制の充実を図ります。	順次育成	→	→	→	3,111 件	<H23取組内容と進捗状況> 障害児施設等に当該事業を委託することにより、外来・訪問による療育及び施設に対する研修事業等を行い、相談支援体制の中核としての役割を果たしてきた。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 「保育所等訪問支援」・「障害児相談支援」等の新制度への移行。 （課題把握の方法） 利用者及び事業者との意見・情報交換等	・障害児等療育支援事業については、従前どおり療育相談の中核としての役割を果たせるよう適切に実施する。 ・平成24年度児童福祉法改正により新設された「保育所等訪問支援」「障害児相談支援」を活用し、療育相談をいっそう充実させる。	保健	B
	○障害児に対する療育相談件数（累計） [21]2,238件→[26]3,500件	2,700 件	2,900 件	3,200 件	3,500 件					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
43	●障害者の働く意欲と能力に応じて働ける社会づくりを推進するため、就労支援事業所の生産品の販路拡大などによる事業所経営の改善支援等により、施設利用者の工賃*のアップを図ります。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>1 授産製品のブランド化を推進するため、統一ブランド”あわのわ”の製品等開発及び既存製品の見直し</p> <p>2 共同受注窓口の整備をし、受注体制、ネットやイベント等での販売体制、PR戦略等を確立</p> <p>3 経営コンサルタントの派遣による個別施設の営業手法や製造工程の改善実施による経営基盤強化</p> <p>4 目標工賃を達成した事業所（就労継続支援B型事業所）に対し助成金を支給</p> <p>5 インターネット販売サイトの開設</p> <p>上記の取組により、事業所の経営に対する意識向上及び販路拡大が促進され、平成23年度の目標工賃を達成可能な状況である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 徳島らしさを生かした共通コア商品のレベルアップと新商品の開発 アンテナショップの開設及び授産製品取扱店の設置 ショッピングセンター等との連携 共同受注・共同生産・共同販売とブランド戦略による効果的な販売促進 企業等との連携を推進する支援ネットワークの構築 コンサルタントの派遣等による経営改善 専門家の派遣による技術向上支援 事業所職員の意識改革 	保健	A	施設利用者の平均工賃全国1位を目指しており、平成23年度の取組や今後の取組などから、障害者の働く意欲と能力に応じた社会づくりの推進に懸命に取り組んでいるように思うことから、「A評価」とした。
	○施設利用者の平均工賃全国順位 [21]全国3位→[26]全国1位				全国1位	-	<p><実績値の判明時期></p> <p>H22全国順位は2位、工賃は17,426円、H23全国順位は9月以降、施設利用者の工賃は8月末頃判明予定</p>				
	○施設利用者の工賃（月額） [21]15,906円→[26]約20,000円	17,000円	18,000円	19,000円	20,000円	-	<p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題></p> <p>地域で自立し、生活するためには更なる工賃アップが必要であるが、厳しい経済情勢や民間競争にさらされるなか、ハードルは高い。 (課題把握の方法)</p> <p>各事業所が策定する工賃向上計画の進捗状況の確認等</p>				
44	●障害者に対する地域生活や就労について、より一層の支援を図るため、地域共同作業所の指定障害福祉サービス事業者等への移行*を推進します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <p>着実な移行を推進させるため、身体・知的の各団体と連携を図りながら、基金事業により、移行のための準備金として1作業所当たり110万円を補助した。</p>	<p>前年度と同様、指定障害福祉サービス事業者等への移行に向けた取り組みを積極的に進めていく。</p>	保健	B	
	○地域共同作業所の指定事業者又は地域活動支援センターへの移行件数（累計） [21]30件→[26]36件	31件	32件	34件	36件	32件	<p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題></p> <p>移行が完了していない作業所は、運営主体の規模が小さく、法人格の取得や利用定員の確保が困難となっている。 (課題把握の方法)</p> <p>会員団体からの現状報告など</p>				

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
45	●グループホーム・ケアホームの整備を促進し、生活基盤の充実を図り、障害者の地域生活への移行を推進します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 基盤整備事業等に積極的に取り組み、事業所にもグループホーム・ケアホームへの移行促進を働きかけ、グループホーム・ケアホームの整備を図った。</p> <p><現状での達成見込み>◎ <課題> 身体障害者が利用できる施設が少ない、南部圏域に少ないなどの偏りがある。 (課題把握の方法) 第3期障害福祉計画の策定に当たり、各市町村から居住系サービスの需要等について調査を行っており、同計画内で各圏域ごとのグループホーム・ケアホームの整備目標を設定している。</p>	前年度と同様、グループホーム・ケアホーム移行に向けた取り組みを積極的に進めていく。	保健	B	
	○グループホーム・ケアホームの定員数 [21]385人→[26]480人	420人	440人	460人	480人	440人					
46	●高次脳機能障害者に対する理解の促進及び機能訓練や地域生活等に関する相談等の支援を推進します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 精神保健福祉センターにおいて、相談支援を充実するために、行政・医療機関・家族会などの関係者を構成員として平成22年度に設置した「ネットワーク会議」を継続して開催し顔の見える関係作りに努めた。</p> <p><現状での達成見込み>○ <課題> 西部圏域・南部圏域においても、連携した相談支援の推進のため関係機関が顔の見える関係作りを推進していく必要がある。 (課題把握の方法) ネットワーク会議での意見</p>	西部・南部でも連携のための会議を開催し、医療・福祉等関係機関が連携した相談支援ができるよう努める。	保健	B	
47	●障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施するとともに、事業主をはじめとした県民の意識啓発を図り、個人、地域、事業主、行政のそれぞれの立場で障害者の職業的自立を支援する体制づくりを目指します。(再掲)	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 1 障害者の雇用促進として、事業所を個別訪問して障害者雇用促進に向けた周知啓発等を実施 2 「条例」制定に向けて、「とくしま障害者雇用県民会議」により検討を行い、骨子(案)を作成 3 障害者雇用優良事業所に対して、知事表彰及びシンボルマークの付与 上記の取組により、障害者の職業的自立を支援する体制が推進された。</p> <p><現状での達成見込み>○ <課題> 県内における経済情勢により雇用環境は影響される。</p>	・条例作成に向けて、パブリックコメントの実施等 ・障害者雇用優良事業所に対する知事表彰及びシンボルマークの付与	商工	B	
	○「とくしま障害者雇用促進条例(仮称)」の制定 [25]制定			※制定		検討					
	○民間企業の障害者雇用率(H18対比増加幅) [21]全国2位→[26]全国1位				全国1位	全国1位					
	○民間企業の障害者雇用率 [21]1.61%→[26]1.80%(法定雇用率)以上	1.71%	1.75%	1.80%	1.80%以上	1.67%					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
48	2 障害福祉サービスの人材育成 ●障害福祉サービスを充実するための人材を養成します。	順次育成	→	→	→	799人	<H23取組内容と進捗状況> 1 サービス管理責任者研修の開催（1回） 2 相談支援従事者研修の開催（1回） 3 障害者虐待防止・権利擁護研修の開催（1回） 上記の取組により障害福祉サービスを充実するための人材を養成した。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 研修内容の充実 （課題把握の方法） 受講者へのアンケート等の実施，国が開催する研修への参加	・受講者へのアンケート等の実施 ・国が開催する指導者養成研修等への参加	保健	A	
	○サービス管理責任者研修の受講者数（累計） [21]476人→[26]1,080人	720人	840人	960人	1,080人						
	○相談支援従事者研修の受講者数（累計） [21]1,335人→[26]1,900人	1,570人	1,680人	1,790人	1,900人						
	○障害者虐待防止・権利擁護研修の受講者数（累計） [21] - →[26]400人	100人	200人	300人	400人						
49	3 障害者の社会参加の推進 ●「障害者交流プラザ」を活用し、障害のある人もない人もスポーツや芸術・文化活動等を通じて、社会参加と交流を促進し、地域社会で生きがいが実感できる仕組みづくりを推進します。	推進	→	→	→	732,881人	<H23取組内容と進捗状況> ・モニタリングの実施により、利用者のニーズに合った自主事業を行うなど、利用者の目線に立った管理運営に取り組んでいる。 <現状での達成見込み>◎ <課題> ・適正なモニタリングの実施及び、モニタリング結果の有効活用 （課題把握の方法） ・定期的なモニタリングの実施 ・意見箱の活用	・利用者の利便性の向上に努める。	保健	A	
	○「障害者交流プラザ」の利用者数（累計） [21]463,326人→[26]1,000,000人	70万人	80万人	90万人	100万人						
50	●障害者が社会参加する際に必要な、移動手段を支援するための施策を推進します。	推進	→	→	→	9,420人	<H23取組内容と進捗状況> 障害者の自立と社会参加を促進するため、障害者の方が福祉増進を図るための行事に参加する際にリフト付き福祉バスを運行した。 年間運行日数 52日 利用人数 1496人 <現状での達成見込み>◎ <課題> 民間においてノンステップバスの導入が進んでいるが、団体行動をする際の移動手段はまだ十分には整備されていない。 （課題把握の方法） 障害者団体等からの意見を参考とする。	・移動が困難な障害者の社会参加を進めるためリフト付き福祉バスの運行を継続する。	保健	A	
	○「ふれあい徳島号(リフト付きバス)」の利用人数（累計） [21]6,120人→[26]14,100人	9,300人	10,900人	12,500人	14,100人						

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年 度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
51	●障害者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、居宅サービスの充実を図ります。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> ・盲導犬1頭を育成、貸与 <現状での達成見込み>◎ <課題> ・補助犬への理解を広げるとともに、商業施設等への受け入れ体制の強化を図る。 (課題把握の方法) ・ユーザー及び関係団体等からの聞き取り</p>	・補助犬の啓発に務める。	保健	B	平成23年度取組として、盲導犬を1頭を育成、貸与したとなっている。これも当然必要なことと思うが、ここでは、もっと幅広い施策を推進していくことが求められているのではないか。新たに指標を追加して、進捗管理を行ってほしいと思う。
	○補助犬の登録頭数（累計） [21]12頭→[26]17頭	14頭	15頭	16頭	17頭	14頭					
52	<p>4 発達障害者（児）への支援</p> <p>●徳島赤十字病院跡地（小松島市）を活用し、発達障害者（児）を支援する施設を結集する「全国に先駆けた」総合的な支援拠点（ゾーン）を構築して、発達障害者（児）とその家族が抱える「不安の軽減」及び発達障害者の「自立と社会参加」の促進を図ります。</p>	促進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 1 発達障害者（児）に対する相談支援、発達支援、就労支援等の充実を図るため、福祉・教育・医療の専門施設を結集した「発達障害者総合支援ゾーン」に「発達障害者総合支援センター ハナミズキ」を開設。 上記の取組により、発達障害者（児）及びその家族に対する乳幼児期から成人期までの各ライフステージに応じた一貫した支援を行う拠点が整備された。 <現状での達成見込み>◎ <課題> ゾーン内の施設や他の関係機関との連携による支援の充実 (課題把握の方法) 定期的連絡・検討会での意見聴取</p>	・ゾーン内の施設とともにそれぞれの専門性に応じた支援をしながら、相互連携して総合的な支援を行うとともに、他の関係機関と連携し支援体制の充実を図る。	保健	A	小松島市の徳島赤十字病院跡地を活用した、「発達障害者支援ゾーン」を開設し、発達障害者（児）及びその家族に対し、医師と連携しながら相談等に当たっており、相談件数も年度の数値目標を上回っていることから、「A評価」とした。
	○「発達障害者総合支援ゾーン」の開設 [24]開設		開設			開設					
53	●発達障害者（児）の自立と社会参加の促進を図るため、「発達障害者総合支援ゾーン」において、医療・教育・労働の各機関と連携を図りながら、支援体制構築や、各種施策を推進します。	推進	移 転・推 進	推進	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 1 発達障害児（者）及びその家族等に対し医師との連携により相談や情報提供を実施。 2 発達障害児（者）に対し労働関係機関と連携した就労支援を実施。 上記の取組により適切な指導や助言を行い、発達障害児（者）及びその家族の福祉の向上を図った。 <現状での達成見込み>◎ <課題> ゾーン内の施設や他の関係機関との連携による支援の充実 (課題把握の方法) 定期的連絡・検討会での意見聴取</p>	・ゾーン内の施設とともにそれぞれの専門性に応じた支援をしながら、相互連携して総合的な支援を行うとともに、他の関係機関と連携し支援体制の充実を図る。	保健	A	同上
	○「発達障害者支援センター」の相談件数（累計） [21]1,893件→[26]7,000件	3,100 件	4,300 件	5,600 件	7,000 件	3,427件					
	○「発達障害者支援センター」の就労支援件数（累計） [21]69件→[26]400件	※180 件	※240 件	※310 件	※400 件	322件					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年 度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
5-4 ユニバーサルとくしまづくり											
54	1 ユニバーサルデザイン*によるまちづくりの推進 ●「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」の普及・啓発及び適切な運用を図ります。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 1ユニバーサルデザインに配慮された施設・製品・活動を表彰 2県民会議の開催 3障害者、高齢者等多様な人々が利用しやすい店舗等を改善する事業者が必要とする資金を融資 4ユニバーサルデザイン講座を開催 <現状での達成見込み>◎ <課題> 県民会議の充実を図る (課題把握の状況) 県民会議会員へのアンケート実施	・アンケート、県民会議で意見のあがった専門部会を実施 ・ユニバーサルデザインに配慮した建物等をマップ化した「とくしまユニバーサルデザインマップ」を平成24年度に作成し、県のHPで公開予定	保健	B	
55	●「とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞」に新たに「観光ユニバーサル大賞」を設け、観光・交流で訪れる外国人を含めた県外客も過ごしやすいような取組等により、地域に暮らすすべての人が暮らしやすいまちづくりを推進します。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 外国人を含む県外からの観光客に対し、ユニバーサルデザインに配慮された施設・製品・活動を表彰する「観光ユニバーサル大賞」を平成24年度創設予定から前倒しして平成23年度に創設し、6件を表彰した。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 賞の周知を図る。	・県のHP等で周知を行う。	保健	B	
	○ユニバーサルデザイン表彰数（累計） [21]22件→[26]60件	37件	44件	52件	60件	46件					
	○観光ユニバーサル大賞の創設 [24]創設		創設			創設					
56	●パーキングパーミット（身体障害者等用駐車場利用証）*制度の一層の促進を図り、歩行困難者の方々に配慮した環境づくりを推進します。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 1平成23年度においてパーキングパーミット交付数は目標を達成したため目標を変更した（H23 3,800件 H24 4,000件 H25 4,300件 H26 4,500件）。 2パーキングパーミット利用可能駐車台数については、僅かに目標値に達しなかった。 3関西広域連合での取組を本県から提案し、新たに兵庫県、京都府において実施されることになった。 <現状での達成見込み>○ <課題> パーキングパーミット利用可能駐車台数を増やすため、協力事業所を増やす必要がある。	・パーキングパーミット利用可能駐車台数は着実に増加していることから、今後も協力事業所を増やすための呼びかけを継続する。 ・平成24年度において四国4県連携事業としてパーキングパーミット制度の普及拡大にむけたキャンペーン活動を行うこととしている。	保健	A	
	○パーキングパーミット利用可能駐車台数 [21]617台→[26]1,200台	850台	980台	1,100台	1,200台	837台					
	○パーキングパーミットの交付件数（累計） [21]1,757件→[26]3,500件	※ 2,750 件	※ 3,000 件	※ 3,250 件	※ 3,500 件	3,865件				パーキングパーミットの交付件数が目標を達成したため、目標値を上げ取り組んだということ、また、パーキングパーミット利用可能駐車台数は目標をわずかに下回ったものの、関西広域連合へこの取組を提案したことや、平成24年度には四国4県で連携し、この制度の普及キャンペーンを実施するなど、積極的に前向きな取組がなされており、障害者等の活動範囲が広がることが期待できることから、「A評価」とした。	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年 度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
58	2 公共施設・交通機関等の整備 ●中山間地域の幅員狭小な道路において、待避所整備に加え、「対向車接近表示システム等」を設置することにより、通行の安全性、快適性を確保します。（再掲）	推進	→	→	→	/	<H23取組内容と進捗状況> 国道438号において整備を実施。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 順調に推移していることから、特になし (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析	・引き続き、他路線での整備を推進する。	県土	A	
	○対向車接近表示システム等設置箇所数 [21]18箇所→[26]24箇所	21箇所	22箇所	23箇所	24箇所	21箇所					
59	●歩行者や自転車利用者が安全に通行できる歩道等の整備や事故抑止対策として交通安全施設の重点整備を推進します。（再掲）	推進	→	→	→	/	<H23取組内容と進捗状況> ・県管理道路で約3kmの整備を実施。 ・2地区（田宮地区、沖浜・二軒屋・明神地区）での対策工の実施 ・県道宮倉徳島線において、約1.0kmの電線類の地中化を実施。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 順調に推移していることから、特になし (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析	・引き続き、交通安全施設の重点的な整備を進める。	県土	A	
	○幅3m以上の歩道の県管理道路における整備延長 [21]232.0km→[26]265.0km	250km	255km	260km	265km	254km					
	○「あんしん歩行エリア」の整備箇所数 [21]7箇所→[25]12箇所	9箇所	10箇所	12箇所		11箇所					
	○電線類を地中化した県管理道路の延長 [21]10.0km→[24]11.0km	10.5km	11.0km			11.0km					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年 度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
60	●ユニバーサル社会の実現に向け、あらゆる人が自立して「安全」に、「安心」して、「自由」に移動することが可能な社会基盤の調査・研究を進めます。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 全国で展開されている「ユビキタス特区」の対象プロジェクトの動向などの情報収集に努めた。</p> <p><現状での達成見込み>○</p> <p><課題> 全国的な先進事例の的確な情報収集方法</p>	・引き続き、情報収集・調査・研究に努める。	県土	B	
61	●路線バスにノンステップバスを導入することにより、公共交通の利便性、快適性の向上を図ります。	促進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 路線バス事業者が行うノンステップバスの導入に対して、国と協調して補助を行い、7台のノンステップバスが導入された。</p> <p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題> 補助に係る予算措置及び計画的な導入の促進) (課題把握の方法) 路線バス事業者からのヒアリング</p>	・バス事業者間の導入計画の調整	県土	A	
	○ノンステップバス（路線バス）の台数（累計） [21]79台→[26]97台	87台	91台	94台	97台	89台					
62	3 外国人が住みやすいまちづくり ●県内在住外国人はもとより、観光やビジネスなどで来県する外国人等との共生を目指し、地域からの国際化を実現するための推進組織を創設し、県民・行政が一体となった事業を推進します。（再掲）	検討	設置・推進	推進	→		<p><H23取組内容と進捗状況> 徳島県内の宿泊・観光施設、県内在住の外国人などを対象に、「多文化共生」や「国際交流」と言った分野はもとより、「販路開拓」や「観光インバウンド」の充実を図るためのニーズ調査を実施した。</p> <p><現状での達成見込み>○</p> <p><課題> 今後の方向性を決定していく必要がある (課題把握の方法) 関係団体へのヒアリングにより課題の把握を行った。</p>	・検討委員会を開催し、方向性を決定	商工	B	
	○「国際交流戦略センター」の設置 [24]設置・推進		設置・推進			-					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
63	●相談窓口の充実、生活支援講座の開設、市町村と連携した多言語による情報提供等を行います。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 徳島県国際交流プラザに多言語（英語・中国語）相談窓口を設置 在県外国人の日常生活を支援するため、生活上の基礎知識の提供や日本語指導等を行う生活支援講座を開催 在県外国人向けの多言語情報ガイドを各市町に配布するとともに、インターネットで行政情報、生活情報を等を提供などにより、多文化共生のまちづくりの推進が図られた。 <p><現状での達成見込み>○</p> <p><課題></p> <p>在県する外国人それぞれでニーズや対応が異なること (課題把握の方法)</p> <p>国際交流プラザが実施する生活支援サービスにおいて、ニーズの把握を行った。</p>	引き続き、外国人が住みやすい「多文化共生のまちづくり」を推進	商工	B	
	○相談、情報提供等の生活支援サービスを受けた外国人人数（再掲） [21]3,623人→[26]8,000人	5,000人	6,000人	7,000人	8,000人	5,032人		<ul style="list-style-type: none"> 多言語（英語・中国語）相談窓口の開設 生活支援講座の開設 多言語情報ガイド等による情報提供 			
64	●在県外国人に対して生活相談等に応じる専門ボランティアの養成を行うとともに、ボランティア、支援団体、行政機関による外国人支援のためのネットワークを形成します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で外国人支援の中核となってもらえる「地域共生サポーター」を募集、登録するとともに、専門ボランティアのスキルアップを図るための研修会を開催。 在県する外国人支援のネットワーク形成を推進するため、相互の情報交換や取組等について「相談支援ネットワーク会議」において協議。 <p>などにより、専門ボランティアの養成及び外国人の支援のネットワークづくりが図られた。</p>	引き続き、「多文化共生のまちづくり」のための、外国人支援のネットワークづくりを推進。	商工	B	
	○地域共生サポーターの委嘱者数 [21]123人→[26]200人	140人	160人	180人	200人	148人	<p><現状での達成見込み>○</p> <p><課題></p> <p>在県する外国人それぞれでニーズや対応が異なること (課題把握の方法)</p> <p>国際交流プラザが実施する生活支援サービス及び関係機関による情報交換を行い課題を把握した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「地域共生サポーター」の募集及びスキルアップのための研修会実施 「相談支援ネットワーク会議」の開催 			
65	●多くの外国人旅行者が快適に移動できるよう、主要観光地等において、多言語化した案内標識の整備を推進します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 案内標識の多言語表記として、新たに1地域で設置。 <p><現状での達成見込み>◎</p>	引き続き、外国人旅行者が快適に異動できるよう整備を推進する。	県土	A	
	○案内標識の多言語表記への変更済地域数（再掲） [21] - →[26]8地域	2地域	4地域	6地域	8地域	4地域	<p><課題></p> <p>新たな整備箇所の選定方法 (課題把握の方法)</p> <p>関係市町村等との調整</p>				

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年 度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
5-5 共助共生とくしまづくり											
66	1 地域福祉の推進 ●地域社会の誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現するため、広域的な見地から県の取組の基本的な考え方・方針を示した「徳島県地域福祉支援計画」を策定するとともに、地域住民に最も身近な市町村における「地域福祉計画」の策定を促進します。	策定・推進	推進	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 1 平成23年度において、徳島県地域福祉支援計画である「とくしま“福祉のきずな”サポートプラン」を策定した。 2 市町村策定する地域福祉計画については、研修会を開催し策定を促した。 <現状での達成見込み>○ <課題> 市町村における取組を促進する必要がある。	・策定した県の計画を活用して市町村の取組を促進していく。	保健	B	
	○徳島県地域福祉支援計画の策定 [23]策定	策定				策定					
	○地域福祉計画策定済市町村数 [21]9市町村→[26]全市町村	12市町村	16市町村	21市町村	24市町村	13市町村					
67	2 地域における高齢者支援の推進 ●県と見守りネットワークを構成する市町村や地域包括支援センター等の関係機関が「情報交換の場」を設けることにより、ネットワークの充実強化を図るとともに、認知症サポーターの拡大や介護予防リーダーの養成、ICTの活用を含め地域の実情に応じた「安否確認システム」の導入により、地域における高齢者支援の充実を図ります。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 1 国の交付金を活用した基金事業において、市町村等が実施する「地域支え合い体制づくり事業」において、市町村等が実施する「地域の支え合い活動の立ち上げ支援」、「地域活動の拠点整備」及び「人材育成」に関する事業に対し補助を行った。 2 徳島県ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク支援協議会を設置し、研修会の開催、「高齢者等の見守りネットワーク構築のための手引き」を作成した。 3 徳島新聞販売店協同組合ほか6団体と徳島県における高齢者等の見守り活動に関する協定を締結した。 4 県内3か所（県中部・県南部・県西部）において、介護予防リーダー養成研修を実施し、新たに103人を養成した。 5 介護予防リーダー・スキルアップ研修を実施し、173人が受講した。 <現状での達成見込み> 「介護予防リーダー」技能向上研修の受講者数は○、それ以外は◎ <課題> 1 地域の見守り体制の更なる強化 2 高齢者数の増加に見合った認知症サポーター、介護予防リーダー等の更なる人材育成	・地域支え合い体制づくり事業の実施 ・介護予防リーダー等の人材育成	保健	B	
	○「ふれあい見守り」安否確認システム導入市町村数 [21]1市町村→[24]全市町村	16市町村	24市町村			19市町村					
	○認知症サポーター数（累計） [21]10,146人→[26]16,000人	13,000人	14,000人	15,000人	16,000人	14,842人					
	○介護予防リーダーの養成者数（累計） [21]405人→[26]950人	650人	750人	850人	950人	653人					
	○「介護予防リーダー」技能向上研修の創設 [23]創設	創設				創設					
	○「介護予防リーダー」技能向上研修の受講者数（累計） [21] - →[26]500人	320人	380人	440人	500人	173人					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
69	●障害者のスポーツ・レクリエーション活動や生きがいつくりの支援の強化を図ります。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な競技種目において、大会や講習会・教室が開催され、指導員が派遣された。 <p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ニーズの把握 (課題把握の方法) 各事業開催時において、参加者・主催者等からの意見等聴取 	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い指導員の養成 ニーズにあった指導員の派遣 	保健	A	
	○人材バンク活用による障害者スポーツ指導員の派遣件数（累計） [21]235件→[26]540件	360件	420件	480件	540件	482件					
70	4 人と動物がともに暮らせる地域づくり ●「徳島県動物愛護管理推進計画」に基づき、不妊・去勢の推進、適正飼養にかかる啓発、譲渡の推進を図り、犬猫の殺処分頭数を削減します。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ol style="list-style-type: none"> 獣医師会、市町村と連携した不妊・去勢の推進 地域ねこ活動普及推進モデル事業の実施 関係ボランティアとの啓発キャンペーン 飼い主への終生飼養の説諭 <p>上記取組により殺処分頭数を前年度より削減できた。</p> <p><現状での達成見込み>○</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 飼い主のいないねこの繁殖制限と地域での取組が必要 (課題把握の方法) 苦情申出者・動物愛護推進員からの聴き取り、地域住民のアンケート調査を踏まえて、課題の把握及び整理をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 不妊・去勢を推進する 地域ねこ活動の推進と普及のための支援を行う ボランティア、関係団体との啓発事業を実施する 	危機	A	
	○犬猫の殺処分頭数 [21]4,211頭→[26]1,500頭	3,400頭	2,700頭	2,100頭	1,500頭	3,215頭					
71	●人と動物がともに暮らせる地域づくりを推進するため、地域で活動する動物愛護推進員の増員に努めます。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ol style="list-style-type: none"> 県民局での推進員認定講習会の開催 市町村への人材確保のための働きかけ 新たな動物愛護推進員の委嘱 <p>上記取組により動物愛護推進員の増員ができた。</p> <p><現状での達成見込み>◎</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村により動物愛護推進員数とその活動に偏りがある 	<ul style="list-style-type: none"> 推進員との意見交換会を実施する 市町村、推進員との連携啓発事業を実施する（パネル展の開催等） 	危機	B	「課題」が取組に活かされていないことから、B評価としたが、積極的な取組がなされ、成果が上がっているように思う。
	○動物愛護推進員数 [21]31名→[26]50名	40人	43人	47人	50人	54人					
72	●新たにボランティア制度を創設し、地域で活動する動物愛護ボランティアの育成と人材確保に努めます。	推進	→	→	→		<p><H23取組内容と進捗状況></p> <ol style="list-style-type: none"> 新たに動物愛護ボランティア制度を創設 動物愛護センターボランティア、災害時ボランティアを募集し登録 <p>上記取組により、実績を残すことができ、ボランティアの動物愛護センター事業への参画も図られた。</p> <p><現状での達成見込み>○</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア登録制度の周知が必要 	<ul style="list-style-type: none"> イベントでのボランティアを募集する 	危機	B	
	○「動物ふれあいボランティア・NPO等」登録数 (累計) [21] - →[26]50以上				50以上	11					